

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和3年 1月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  喫煙経験者 頻尿多く 横浜市大調査 若い人ほど高リスク
- (2)  同一住所 届け先どこ？
- (3)  自動運転バス 地域の足に 自治体主導で相次ぎ実験

(1) 喫煙経験者 頻尿多く

横浜市大調査 若い人ほど高リスク

*横浜市大は、喫煙の経験がある人は頻尿の症状に悩むケースが多いことを突き止めました。日本人の税人男性約1万人を対象にアンケート調査。

*年齢が高い人ほど多い傾向。

*喫煙者や禁煙者のほうが非喫煙者より多くいました。

*20代では非喫煙者の3~4倍に上ります。

*「過活動ぼうこう」という疾患は、日本人の40歳以上の8人に1人がかかるとされます。

(2020年12月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 同一住所 届け先どこ？



「別の建物なのに…」地図の表示は一緒

相次ぐ誤配 食べ物廃棄も

*日本では明治時代から、土地ごとにつけられた番号「地番」を住所としてきました。

今も不動産登記で使われます。

*1962年には住居表示法が施行。「街区方式」などでの表示が可能に。

*街区方式の住居番号は、区画を囲む公道を10~15Mごとに区切ってふられています。

*建物の玄関が面した場所で住居番号は決まりますが、家同士の玄関が近い場合や、公道から引き込んだ私道沿い建つ家々は、同一住所になることがあります。

*同一住所は、再開発で生まれた新興住宅街で起きやすくなります。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*都市部を中心に、住民から申請があれば住所の末尾に「枝番号」をつけて
区別できる制度の導入を進めています。

外出自粛で出前活況

*外食業態の出前の市場規模は2020年9月までの1年間で5755億円に上
り、前年同期に比べて38%拡大。

*変化が大きかったのは緊急事態宣言の発令期間を含む5月で、前年同月の
約3倍に。

*2020年4~9月の宅配便の取り扱い個数は約23億2400万個で、前年同期
(約20億8700万個)を上回りました。

(2020年12月7日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) 自動運転バス 地域の足に 自治体主導で相次ぎ実験

公共交通維持へ期待 地方に迫る「交通崩壊」

国、路線バス代替 確保急ぐ

*地方自治体の中でバスの自動運転を目指す動きが活発化。

*各地で自治体主導の実証実験が相次ぎます。

*2018年度の全国の乗り合いバス輸送人員は延べ43億人で、100億人を超
えていた1970年度の4割程度に減少。

*路線バス事業者の7割は事業収支が赤字。

廃止路線の長さは、2009~2018年度の10年間で1万5000kmを超えまし
た。

(2020年12月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

